

表番号	旧条文(令和5年版)	新条文(令和6年版)	改定理由																																																				
1-3-5-4-2 (6) 表1-3-2 計量値の許容差	<div>表1-3-2 計量値の許容差</div> <table><tr><th>材料の種類</th><th>最大値 (%)</th></tr><tr><td>水</td><td>1</td></tr><tr><td>セメント</td><td>1</td></tr><tr><td>骨材</td><td>3</td></tr><tr><td>混和材</td><td>2※</td></tr><tr><td>混和剤</td><td>3</td></tr></table> <div>※高炉スラグ微粉末の場合は、1 (%) 以内</div>	材料の種類	最大値 (%)	水	1	セメント	1	骨材	3	混和材	2※	混和剤	3	<div>表1-3-2 計量値の許容差</div> <table><tr><th>材料の種類</th><th>計量値の許容差 (%)</th></tr><tr><td>水</td><td>1</td></tr><tr><td>セメント</td><td>1</td></tr><tr><td>骨材</td><td>3</td></tr><tr><td>混和材</td><td>2※</td></tr><tr><td>混和剤</td><td>3</td></tr></table> <div>※高炉スラグ微粉末の計量値の許容差の最大値は、1 (%) とする。</div>	材料の種類	計量値の許容差 (%)	水	1	セメント	1	骨材	3	混和材	2※	混和剤	3	諸基準の改定に伴う																												
材料の種類	最大値 (%)																																																						
水	1																																																						
セメント	1																																																						
骨材	3																																																						
混和材	2※																																																						
混和剤	3																																																						
材料の種類	計量値の許容差 (%)																																																						
水	1																																																						
セメント	1																																																						
骨材	3																																																						
混和材	2※																																																						
混和剤	3																																																						
1-3-6-9 2.湿潤状態の保持 表1-3-3	<div>表1-3-3 コンクリートの標準養生期間</div> <table><tr><th>日平均気温</th><th>普通ポルトランドセメント</th><th>混合セメントB種</th><th>早強ポルトランドセメント</th></tr><tr><td>15℃以上</td><td>5日</td><td>7日</td><td>3日</td></tr><tr><td>10℃以上</td><td>7日</td><td>9日</td><td>4日</td></tr><tr><td>5℃以上</td><td>9日</td><td>12日</td><td>5日</td></tr></table> <div>〔注〕寒中コンクリートの場合は、第1編第3章第10節寒中コンクリートの規定による。 養生期間とは、湿潤状態を保つ期間のことである。</div>	日平均気温	普通ポルトランドセメント	混合セメントB種	早強ポルトランドセメント	15℃以上	5日	7日	3日	10℃以上	7日	9日	4日	5℃以上	9日	12日	5日	<div>表1-3-3 コンクリートの湿潤養生期間の目安</div> <table><tr><th>日平均気温</th><th>早強ポルトランドセメント</th><th>普通ポルトランドセメント</th><th>混合セメントB種</th><th>中熱ポルトランドセメント</th><th>低熱ポルトランドセメント</th></tr><tr><td>15℃以上</td><td>3日</td><td>5日</td><td>7日</td><td>8日</td><td>10日</td></tr><tr><td>10℃以上</td><td>4日</td><td>7日</td><td>9日</td><td>9日</td><td>※</td></tr><tr><td>5℃以上</td><td>5日</td><td>9日</td><td>12日</td><td>12日</td><td>※</td></tr></table> <div>※15℃より低い場合での使用は、試験により定める。 〔注〕寒中コンクリートの場合は、第1編第3章第10節寒中コンクリートの規定による。 養生期間とは、湿潤状態を保つ期間のことである。</div>	日平均気温	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	混合セメントB種	中熱ポルトランドセメント	低熱ポルトランドセメント	15℃以上	3日	5日	7日	8日	10日	10℃以上	4日	7日	9日	9日	※	5℃以上	5日	9日	12日	12日	※	諸基準の改定に伴う												
日平均気温	普通ポルトランドセメント	混合セメントB種	早強ポルトランドセメント																																																				
15℃以上	5日	7日	3日																																																				
10℃以上	7日	9日	4日																																																				
5℃以上	9日	12日	5日																																																				
日平均気温	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	混合セメントB種	中熱ポルトランドセメント	低熱ポルトランドセメント																																																		
15℃以上	3日	5日	7日	8日	10日																																																		
10℃以上	4日	7日	9日	9日	※																																																		
5℃以上	5日	9日	12日	12日	※																																																		
1-3-10-3 5.養生温度 表1-3-4 寒中コンクリートの温度制御養生期間	<div>表1-3-4 寒中コンクリートの温度制御養生期間</div> <table><tr><th rowspan="2">5℃以上の温度制御養生を行った後の次の春までに想定される凍結融解の頻度</th><th rowspan="2">養生温度</th><th colspan="3">セメントの種類</th></tr><tr><th>普通ポルトランドセメント</th><th>早強ポルトランドセメント</th><th>混合セメントB種</th></tr><tr><td rowspan="2">(1) しばしば凍結融解を受ける場合</td><td>5℃</td><td>9日</td><td>5日</td><td>12日</td></tr><tr><td>10℃</td><td>7日</td><td>4日</td><td>9日</td></tr><tr><td rowspan="2">(2) まれに凍結融解を受ける場合</td><td>5℃</td><td>4日</td><td>3日</td><td>5日</td></tr><tr><td>10℃</td><td>3日</td><td>2日</td><td>4日</td></tr></table>	5℃以上の温度制御養生を行った後の次の春までに想定される凍結融解の頻度	養生温度	セメントの種類			普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	混合セメントB種	(1) しばしば凍結融解を受ける場合	5℃	9日	5日	12日	10℃	7日	4日	9日	(2) まれに凍結融解を受ける場合	5℃	4日	3日	5日	10℃	3日	2日	4日	<div>表1-3-4 寒中コンクリートの温度制御養生期間</div> <table><tr><th rowspan="2">5℃以上の温度制御養生と所定の湿潤養生を行った後に想定される気象条件</th><th rowspan="2">養生温度</th><th colspan="3">セメントの種類</th></tr><tr><th>普通ポルトランドセメント</th><th>早強ポルトランドセメント</th><th>混合セメントB種</th></tr><tr><td rowspan="2">(1) 厳しい気象条件</td><td>5℃</td><td>9日</td><td>5日</td><td>12日</td></tr><tr><td>10℃</td><td>7日</td><td>4日</td><td>9日</td></tr><tr><td rowspan="2">(2) まれに凍結融解する程度の気象条件</td><td>5℃</td><td>4日</td><td>3日</td><td>5日</td></tr><tr><td>10℃</td><td>3日</td><td>2日</td><td>4日</td></tr></table>	5℃以上の温度制御養生と所定の湿潤養生を行った後に想定される気象条件	養生温度	セメントの種類			普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	混合セメントB種	(1) 厳しい気象条件	5℃	9日	5日	12日	10℃	7日	4日	9日	(2) まれに凍結融解する程度の気象条件	5℃	4日	3日	5日	10℃	3日	2日	4日	諸基準の改定に伴う
5℃以上の温度制御養生を行った後の次の春までに想定される凍結融解の頻度	養生温度			セメントの種類																																																			
		普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	混合セメントB種																																																			
(1) しばしば凍結融解を受ける場合	5℃	9日	5日	12日																																																			
	10℃	7日	4日	9日																																																			
(2) まれに凍結融解を受ける場合	5℃	4日	3日	5日																																																			
	10℃	3日	2日	4日																																																			
5℃以上の温度制御養生と所定の湿潤養生を行った後に想定される気象条件	養生温度	セメントの種類																																																					
		普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	混合セメントB種																																																			
(1) 厳しい気象条件	5℃	9日	5日	12日																																																			
	10℃	7日	4日	9日																																																			
(2) まれに凍結融解する程度の気象条件	5℃	4日	3日	5日																																																			
	10℃	3日	2日	4日																																																			

表番号

旧条文(令和5年版)

3-1-1-7
5.道路工事完成図等の電子成果品
表3-1-2

表3-1-2 道路工事完成図等作成の対象工事

事業区分	工事区分	完成図						工事施設帳票
		平面図	縦断図	横断図	構造図	構造詳細図	用地丈量図	
道路新築・改築	道路改良	○	○	—	—	—	—	●
	舗装	●	●	—	—	—	—	●
	橋梁上部工 (鋼・コンクリート)	—	—	—	—	—	—	●
	橋梁下部工	—	—	—	—	—	—	●
	トンネル (NATM・矢板)							
	地下横断歩道							
	地下駐車場	—	—	—	—	—	—	●
	シェッド (コンクリート・鋼製)							
電線共同溝	共同溝							
	電線共同溝	●*1	●*1	—	—	—	—	●
	情報ボックス							
維持・雪害	道路維持	—	—	—	—	—	—	●*2
	道路修繕	●*3	●*3	—	—	—	—	●
	雪害	—	—	—	—	—	—	●

〈凡例〉●：道路工事完成図等作成要領に基づく完成図等の作成、電子納品が必須

○：新土木工事積算体系におけるレベル0事業区分及びレベル1工事区分、レベル2工種で「舗装工」を含む工事のうち1区間で100㎡を超える表層の舗装工を含む工事（仮舗装、歩道舗装を除く）

〈注意〉*1：新土木工事積算体系のレベル2工種で「舗装工」を含まない共同溝、電線共同溝、情報ボックス工事については、平面図および縦断図を作成する必要はない。また、「舗装工」を含む工事であっても、仮復旧及び道路の一部舗装のみを行う工事については平面図および縦断図を作成する必要はない。

*2：除草、除雪および清掃等、道路施設に変更を加えない道路維持工事については工事施設帳票を作成する必要はない。

*3：新土木工事積算体系のレベル2工種で「舗装工」を含まない道路修繕工事については平面図及び縦断図を作成する必要はない。また、「舗装工」を含む工事であっても、管内全域で行う簡易な道路修繕工事（小規模な欠損部補修作業、100㎡以下の舗装工事等）については平面図及び縦断図を作成する必要はない。

新条文(令和6年版)

改定理由

表3-1-2 道路工事完成図等作成の対象工事

事業区分	工事区分	完成図						工事施設帳票
		平面図	縦断図	横断図	構造図	構造詳細図	用地丈量図	
道路新築・改築	道路改良	■	■	○	○	○	○	●
	舗装	●	●	○	○	○	—	●
	橋梁上部工 (鋼・コンクリート)	○	—	—	○	○	—	●
	橋梁下部工	—	—	—	○	○	○	●
	トンネル (NATM・矢板)							
	地下横断歩道							
	地下駐車場	○	—	—	○	○	○	●
	シェッド (コンクリート・鋼製)							
電線共同溝	共同溝							
	電線共同溝	●*1	●*1	—	○	○	○	●
	情報ボックス							
維持・雪害	道路維持	—	—	—	—	—	—	●*2
	道路修繕	●*3	●*3	○	○	○	—	●
	雪害	○	—	—	○	○	—	●

〈凡例〉●：道路工事完成図等作成要領に基づく完成図等の作成、電子納品が必須

■：新土木工事積算体系におけるレベル0事業区分及びレベル1工事区分、レベル2工種で「舗装工」を含む工事のうち1区間で100㎡を超える表層の舗装工を含む工事（仮舗装、歩道舗装を除く）

○：受発注者間と事前協議の上で電子化の範囲等を決定（発注図書において標準的と思われる図面）

—：受発注者間と事前協議の上で電子化の範囲等を決定（発注図書において参考的と思われる図面）

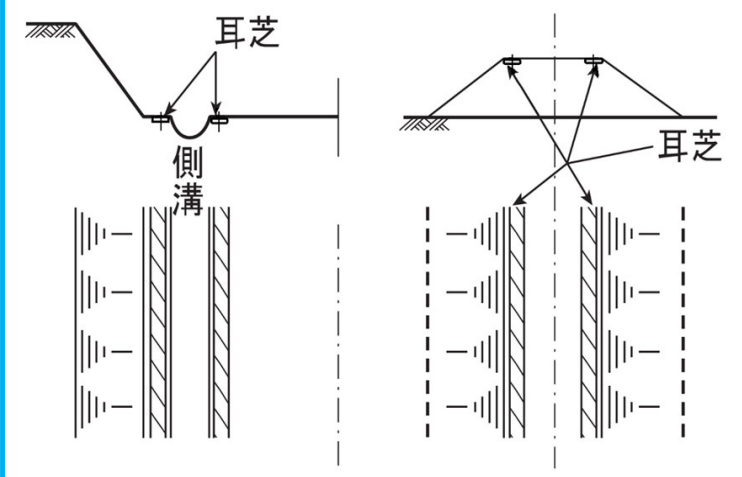
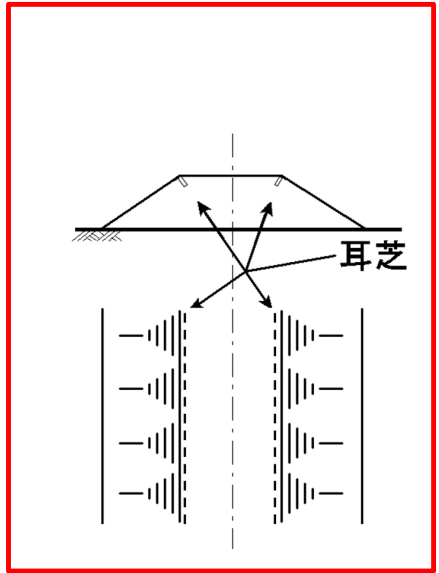
〈注意〉*1：新土木工事積算体系のレベル2工種で「舗装工」を含まない共同溝、電線共同溝、情報ボックス工事については、平面図および縦断図を作成する必要はない。また、「舗装工」を含む工事であっても、仮復旧及び道路の一部舗装のみを行う工事については平面図および縦断図を作成する必要はない。

*2：除草、除雪および清掃等、道路施設に変更を加えない道路維持工事については工事施設帳票を作成する必要はない。

*3：新土木工事積算体系のレベル2工種で「舗装工」を含まない道路修繕工事については平面図及び縦断図を作成する必要はない。また、「舗装工」を含む工事であっても、管内全域で行う簡易な道路修繕工事（小規模な欠損部補修作業、100㎡以下の舗装工事等）については平面図及び縦断図を作成する必要はない。

関連規準との整合

表番号	旧条文(令和5年版)	新条文(令和6年版)	改定理由																																																																										
3-2-6-11 6.接着剤の塗布 表3-2-32(1)	<table><tr><th colspan="5">表3-2-32 (1) 接着剤の規格コンクリート床版用</th></tr><tr><th rowspan="2">項 目</th><th rowspan="2">アスファルト系 (ゴム入り) 溶剤型</th><th colspan="2">ゴム系溶剤型</th><th rowspan="2">試験方法</th></tr><tr><th>1次プライマー</th><th>2次プライマー</th></tr><tr><td>指触乾燥時間 (20℃)</td><td>60分以内</td><td>30分以内</td><td>60分以内</td><td>JIS K 5600-1 *1</td></tr><tr><td>不揮発分 (%)</td><td>20以上</td><td>10以上</td><td>25以上</td><td>JIS K 6833- 1,2*2</td></tr><tr><td>作 業 性</td><td colspan="3">塗り作業に支障のないこと</td><td>JIS K 5600-1 *1</td></tr><tr><td>耐 久 性</td><td colspan="3">5日間で異常のないこと</td><td>JIS K 5600-1 *1</td></tr><tr><td colspan="5">[注] *1 適用する床版の種類に応じた下地材を使用する。 (例:コンクリート床版の場合はコンクリートブロックまたはモルタルピースとし、鋼床版の場合は鋼板を使用する) *2 試験方法は、JIS K 6833-1,2、JIS K 6387-1,2などを参考に実施する。</td></tr></table>	表3-2-32 (1) 接着剤の規格コンクリート床版用					項 目	アスファルト系 (ゴム入り) 溶剤型	ゴム系溶剤型		試験方法	1次プライマー	2次プライマー	指触乾燥時間 (20℃)	60分以内	30分以内	60分以内	JIS K 5600-1 *1	不揮発分 (%)	20以上	10以上	25以上	JIS K 6833- 1,2*2	作 業 性	塗り作業に支障のないこと			JIS K 5600-1 *1	耐 久 性	5日間で異常のないこと			JIS K 5600-1 *1	[注] *1 適用する床版の種類に応じた下地材を使用する。 (例:コンクリート床版の場合はコンクリートブロックまたはモルタルピースとし、鋼床版の場合は鋼板を使用する) *2 試験方法は、JIS K 6833-1,2、JIS K 6387-1,2などを参考に実施する。					<table><tr><th colspan="5">表3-2-32 接着剤の規格コンクリート床版用</th></tr><tr><th rowspan="2">項 目</th><th rowspan="2">アスファルト系 (ゴム入り) 溶剤型</th><th colspan="2">ゴム系溶剤型</th><th rowspan="2">試験方法</th></tr><tr><th>1次プライマー</th><th>2次プライマー</th></tr><tr><td>指触乾燥時間 (20℃)</td><td>60分以内</td><td>30分以内</td><td>60分以内</td><td>JIS K 5600-1 *1</td></tr><tr><td>不揮発分 (%)</td><td>20以上</td><td>10以上</td><td>25以上</td><td>JIS K 6833- 1,2*2</td></tr><tr><td>作 業 性</td><td colspan="3">塗り作業に支障のないこと</td><td>JIS K 5600-1 *1</td></tr><tr><td>耐 久 性</td><td colspan="3">5日間で異常のないこと</td><td>JIS K 5600-1 *1</td></tr><tr><td colspan="5">[注] *1 適用する床版の種類に応じた下地材を使用する。 (例:コンクリート床版の場合はコンクリートブロックまたはモルタルピースとし、鋼床版の場合は鋼板を使用する) *2 試験方法は、JIS K 6833-1,2、JIS K 6387-1,2などを参考に実施する。</td></tr></table>	表3-2-32 接着剤の規格コンクリート床版用					項 目	アスファルト系 (ゴム入り) 溶剤型	ゴム系溶剤型		試験方法	1次プライマー	2次プライマー	指触乾燥時間 (20℃)	60分以内	30分以内	60分以内	JIS K 5600-1 *1	不揮発分 (%)	20以上	10以上	25以上	JIS K 6833- 1,2*2	作 業 性	塗り作業に支障のないこと			JIS K 5600-1 *1	耐 久 性	5日間で異常のないこと			JIS K 5600-1 *1	[注] *1 適用する床版の種類に応じた下地材を使用する。 (例:コンクリート床版の場合はコンクリートブロックまたはモルタルピースとし、鋼床版の場合は鋼板を使用する) *2 試験方法は、JIS K 6833-1,2、JIS K 6387-1,2などを参考に実施する。					表3-2-32 (2) の削除
表3-2-32 (1) 接着剤の規格コンクリート床版用																																																																													
項 目	アスファルト系 (ゴム入り) 溶剤型	ゴム系溶剤型		試験方法																																																																									
		1次プライマー	2次プライマー																																																																										
指触乾燥時間 (20℃)	60分以内	30分以内	60分以内	JIS K 5600-1 *1																																																																									
不揮発分 (%)	20以上	10以上	25以上	JIS K 6833- 1,2*2																																																																									
作 業 性	塗り作業に支障のないこと			JIS K 5600-1 *1																																																																									
耐 久 性	5日間で異常のないこと			JIS K 5600-1 *1																																																																									
[注] *1 適用する床版の種類に応じた下地材を使用する。 (例:コンクリート床版の場合はコンクリートブロックまたはモルタルピースとし、鋼床版の場合は鋼板を使用する) *2 試験方法は、JIS K 6833-1,2、JIS K 6387-1,2などを参考に実施する。																																																																													
表3-2-32 接着剤の規格コンクリート床版用																																																																													
項 目	アスファルト系 (ゴム入り) 溶剤型	ゴム系溶剤型		試験方法																																																																									
		1次プライマー	2次プライマー																																																																										
指触乾燥時間 (20℃)	60分以内	30分以内	60分以内	JIS K 5600-1 *1																																																																									
不揮発分 (%)	20以上	10以上	25以上	JIS K 6833- 1,2*2																																																																									
作 業 性	塗り作業に支障のないこと			JIS K 5600-1 *1																																																																									
耐 久 性	5日間で異常のないこと			JIS K 5600-1 *1																																																																									
[注] *1 適用する床版の種類に応じた下地材を使用する。 (例:コンクリート床版の場合はコンクリートブロックまたはモルタルピースとし、鋼床版の場合は鋼板を使用する) *2 試験方法は、JIS K 6833-1,2、JIS K 6387-1,2などを参考に実施する。																																																																													
3-2-6-11 6.接着剤の塗布 表3-2-32(2)	<table><tr><th colspan="5">表3-2-32(2) シート系床版防水層(流し貼り型、加熱溶着型、常温粘着型)プライマーの品質</th></tr><tr><th>種 類 項目</th><th>溶剤型</th><th>水性型</th><th>水性型</th><th>試験方法</th></tr><tr><td>指触乾燥時間 (23℃)分</td><td>60分以内</td><td>60分以内</td><td>180分以内</td><td>JIS K 5600-1 *1</td></tr><tr><td>不揮発分%</td><td>20以上</td><td>50以上</td><td>35以上</td><td>JIS K 6833 -1, 2 *2</td></tr><tr><td>作業性</td><td colspan="3">塗り作業に支障のないこと</td><td>JIS K 5600-1 *1</td></tr><tr><td>耐水性</td><td colspan="3">5日間で異常のないこと</td><td>JIS K 5600-1 *1</td></tr><tr><td colspan="5">[注1] *1 適用する床版の種類に応じた下地材を使用する *2 試験方法はJIS K 6833-1, 2, JIS K 6387-1, 2などを参考に実施する [注2] 塗膜系床版防水層(アスファルト加熱型)のプライマーは上表の品質による</td></tr></table>	表3-2-32(2) シート系床版防水層(流し貼り型、加熱溶着型、常温粘着型)プライマーの品質					種 類 項目	溶剤型	水性型	水性型	試験方法	指触乾燥時間 (23℃)分	60分以内	60分以内	180分以内	JIS K 5600-1 *1	不揮発分%	20以上	50以上	35以上	JIS K 6833 -1, 2 *2	作業性	塗り作業に支障のないこと			JIS K 5600-1 *1	耐水性	5日間で異常のないこと			JIS K 5600-1 *1	[注1] *1 適用する床版の種類に応じた下地材を使用する *2 試験方法はJIS K 6833-1, 2, JIS K 6387-1, 2などを参考に実施する [注2] 塗膜系床版防水層(アスファルト加熱型)のプライマーは上表の品質による						同上																																							
表3-2-32(2) シート系床版防水層(流し貼り型、加熱溶着型、常温粘着型)プライマーの品質																																																																													
種 類 項目	溶剤型	水性型	水性型	試験方法																																																																									
指触乾燥時間 (23℃)分	60分以内	60分以内	180分以内	JIS K 5600-1 *1																																																																									
不揮発分%	20以上	50以上	35以上	JIS K 6833 -1, 2 *2																																																																									
作業性	塗り作業に支障のないこと			JIS K 5600-1 *1																																																																									
耐水性	5日間で異常のないこと			JIS K 5600-1 *1																																																																									
[注1] *1 適用する床版の種類に応じた下地材を使用する *2 試験方法はJIS K 6833-1, 2, JIS K 6387-1, 2などを参考に実施する [注2] 塗膜系床版防水層(アスファルト加熱型)のプライマーは上表の品質による																																																																													

表番号	旧条文(令和5年版)	新条文(令和6年版)	改定理由
3-2-14-2 6.耳芝 図3-2-6			現場実装との整合